

えん-enn-

2024
9月号

広げよう、**支え合い**の輪。

Vol.9

超高齢社会を迎えるわがまち大郷町で、住民や専門職・関係機関が協力し、
高齢者を明るく・楽しく・ポジティブに支える地域づくりを進めています！



【表紙】「つながりワーカー養成講座」1期生

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、6月21日(金)に「つながりワーカー養成講座」を開催しました。定員いっぱいの参加者が集まり、超少子高齢化社会の孤立、孤独問題への関心の高さを感じました。

講座では“地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人”とは何か、自分たちはどんなことができるのか、どのような声掛けがいいのか、などを学びました。講座を修了した方には、受講修了証と大郷町社会福祉協議会のつながりワーカー受講者用オリジナルピンバッジが贈呈されました。

«参加された方の声»

- ・今までの講座の中で一番良かった。
- ・結構難しかったけど、久々にこんなに勉強して楽しかった。

受講いただきありがとうございました！引き続き、地域福祉の推進に向けて興味のある企画を開催していく予定です。よろしくお願いいたします。

(生活支援コーディネーター 及川)

縁
が
あ
っ
て
円
と
な
る。



郷

(おーさんと)

(制 作) 大郷町地域支え合い推進協議体

(問い合わせ先) 大郷町社会福祉協議会

〒981-3502 大郷町粕川字東長崎31-7

☎ 022-359-2753 FAX 022-359-4896



あなたは「助けられる」と言える人が近所にいますか？



気に掛けあう地域づくり

おらほのおせっかい ホンモノの”支え・合い”とは？

左の写真は、7月の講演会の時の様子です。テーマは、地域での“支え・合い”についてでした。講師の酒井保さんからは、住み慣れた地域の中でいつまでも安心して生活するために、また、孤独や孤立を無くし、誰一人残されることなくふだんの生活をしていくためには、地域で“支え・合っ”いく事が必要といった話がありました。「皆さんはご近所とつながり合っていますか？」「たとえば、災害などが起きた時（起きなくても）あなたは助けてと言えますか？」「支え合っていますか？」と改めて日頃のご近所付き合いの役割について考えるきっかけになりました。

参加者からは、「考え方が参考になった」「社会参加が大切なのはわかったけど、ふれあいの場ってあるのかな？」などの声がありました。近くの集まりに顔を出す社会参加が、健康寿命の延伸にとっても効果があるという情報もありました。まずは、挨拶から始めてみるのもいいですね。



【山崎】結の会

新しい形で つながりを 始めた地域



「できないことがあってもお互い様、地域で気に掛け合う関係づくりをしていこう！」と発足した山崎地区の「結の会」をご紹介します。地区には老人クラブがないため、それに代わるような場として作ったそうです。会の代表者の熊谷区長さんは「これから」みんなが主催“という考えで活動をしていきたい。”と話していました。

この日は、分館にあつまり社協職員の講話をきいたり、レクリエーションで楽しんだり大変盛り上がりしていました。かき氷も振舞われ皆さんのとびきりの笑顔がはじけていました。

また、情報交換の場としての役割もあり、「毎週ギターを弾いて楽しんでいる会をやっています。」「やってみたい人いませんか？」など問いかけたり、地域の仲間づくりがどんどん広がっているようです。



この情報誌 ～えん～は、各地域の日々の生活の中にある、人と人とのつながり（縁）を、大郷社協の生活支援コーディネーターの視点で取材しています。



【上町】七夕飾り

伝統文化が結ぶ 地域と人



これは地域の お宝ですね！

“伝統”として毎年8月に七夕飾りを行っている地域があるという情報をもとに、「七夕飾り」＝「地域の支え合い」になっているかも！という事で、上町地区に取材に行ってきました。取材対応してくれた渥美さんから、今年の七夕飾りの製作秘話を教えていただきました。

実は、しばらく体調を崩していたので、今年は制作を諦めようとおもっていたところ、近所の方から「具合悪いんだって～大丈夫か。良くなったら、一緒に（七夕飾り）作ろう！」と誘われて、「よしやってみよう」と思い、それから「あ～でもない、こ～でもないと作ってました。」と笑顔で話してくれました。

ご近所さんとの雑談の中からも「お盆で布団出したのはいいけど重くてしまえないでしょう。。。」「それ手伝ってやるか！」という何気ない会話にも“支え合い”を見つけることができ、そして、この地域の伝統の七夕飾りから、“つながり”を感じることができました。



「伝統の七夕飾り」＝「地域の支え・合い」の源！



【こども園】畑仕事ボランティア

笑顔がいっぱい 地域のつながり

地域の子供たちと触れ合う機会が少なかった大郷社協ですが、こども園さんから「地域の人と交流をしたい！」と、キッチンカーを呼んでいただいたことがきっかけとなり、新しい「えん（縁）」が生まれました。

先生より「実は、畑に詳しい職員がいないので、畑を活かしきれいなくて困っています。この畑の先生になってくれそうな方いませんか？」というお悩みを伺い、畑仕事ボランティアを募集したところ、程なくして、ボランティアが見つかり早速活躍していただいています。

この日は、大変気温の高い日でしたが、畑の草取り作業をしていただきました。おかげで、綺麗になった畑から、立派なキュウリやニンジンが顔を出したので、急遽、野菜の収穫作業になりました。収穫体験した園児達は、畑の先生との交流も元気いっぱい、みんな大はしゃぎでした。

大変暑い中作業していただき、ありがとうございました。これからも素敵な交流が続きますように。



この笑顔がたまらない